

## 芸術アドバイザー（就任期間：2017年4月1日～2021年3月31日）

札幌文化芸術劇場 hitaru の芸術アドバイザーとして、劇場のオープンを、札幌市民の皆さまといっしょに迎えることができ、大変光栄に思っています。

これまで私は、国内外で数多くの劇場を見てきましたが、利便性の高い立地にオペラハウスの機能を備えた劇場ができるのは、この上なく素晴らしいことだと思います。この劇場では、オペラやバレエ、ミュージカル、演劇、クラシック音楽、ポップスなどさまざまなジャンルの公演が開かれますが、どんなプログラムでもまず質の高い音楽が奏でられると確信しています。オペラでもバレエでも、上質なものをぜひ生で体験していただきたい。DVDなどでは絶対に味わえないライブの息づかいや空気感を五感で受けとめると、心がふるえます。まずは一度劇場に足を運んでいただいて、札幌の新しい可能性を、皆さまに実感していただきたいと思います。

優れた音楽ホールと劇場を備え、世界に名だたるオーケストラを有することが、市民みんなの誇り。それが都市の“文化度”の高さにつながります。クラシックコンサートのための Kitara があって、バレエやミュージカルなど幅広いジャンルの公演が可能な札幌文化芸術劇場 hitaru が新しくできる。生の芸術に触れられる機会が格段に増えることで、札幌の街も人々も大きく変わっていくと思っています。私が若い頃に留学していたウィーンでは、年間300本もの公演が行われていて、劇場に出かけることは日常の一部でした。ソリストの歌唱に合わせた即興性が求められるオペラ公演が増えることで、地元オーケストラの演奏にも今後さらに磨きがかかるはず。劇場とオケが互いに育ちあい、札幌文化芸術劇場 hitaru に足を運ぶことが札幌市民の習慣になるように、根付いてほしいと思います。

この劇場と、そして劇場のある札幌の街の文化芸術がますます成熟していくことを願っています。

2018年8月

札幌文化芸術劇場 hitaru 芸術アドバイザー

尾高 忠明

（就任期間：2017年4月1日～2021年3月31日）



©Martin Richardson